

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)の効果検証について

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 事業概要目的	③ 交付金充当経費	④ 実績額 単位:円	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 外部有識者からの評価		⑧ 実績値を踏まえた事業の今後について	
					指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
2	農業振興支援事業	胎内市の農業は、市の基幹産業として重要な役割を果たしてきたが、高齢化の進行に伴う担い手不足や耕作放棄地の増加等様々な課題を抱えており、地域農業の担い手を支える仕組みづくりが重要である。そこで、担い手の経営基盤の強化を支援し、意欲的に農業に取り組むことができる環境を整備する。	農業機械等の導入に係る費用の一部助成(補助率3/10、上限50万)	4,966,000	指標①	担い手等への農業機械導入補助件数	10	件	H28.3	21	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	トラクタなど農業機械の導入など経営の効率化に役立っていると思われるが、導入等による効果について検証し、今後の補助の在り方を検討していただきたい。	追加等更に発展させる	さらに事業内容を充実させるため、補助対象を追加し、市単独事業として事業を継続する。
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
3	観光振興事業 (米級グルメの祭典開催事業)	胎内市には米粉製粉工場が立地し、米粉を使用した製品やメニューを開発する取組も盛んである。この米粉を観光振興に活用したイベント「米粉フェスタinたいない」を開催し、観光交流を推進する。	米級グルメの祭典実行委員会が開催する「米粉フェスタinたいない」の開催経費	5,000,000	指標①	米粉フェスタの開催による観光入込客数	5,000	人	H28.3	5,750	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	国内外の観光客に胎内をPRできるよう、情報発信手法やイベント内容を見直すことで、更なる集客を図るよう検討いただきたい。	事業の継続	当該事業で開催した米粉フェスタを継続開催し、米粉を活用した観光交流を展開していく。
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
4	観光振興事業 (観光誘客促進事業)	胎内市には地域特有の観光資源が多くあるが、総じて知名度が低い。この観光資源を有効活用し、観光誘客の促進に繋げるため、胎内市観光協会と連携した観光振興事業を展開する。	一般社団法人胎内市観光協会が行う観光振興のための事業費に係る経費を一部負担	8,484,728	指標①	一般社団法人胎内市観光協会が開催するイベントの観光入込客数	40,000	人	H28.3	31,385	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	集客数が伸びない原因を解明し、イベント内容や実行体制、情報発信等を見直すことで、PDCAサイクルを確実に回していく事業手法の開発が必要である。	事業の継続	事業継続により、更なる観光誘客の促進を図る。
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
5	観光振興事業 (観光拠点施設利便性向上事業)	胎内市の観光振興において、観光の中心である胎内リゾートエリアの活性化は重要課題の一つである。スマートフォンやソーシャルメディア等の普及が進む中、同エリアの観光客の一層の利便性向上を図り、満足度向上に繋げるため、拠点施設の情報化環境整備等を支援する。	市の観光拠点施設であるロイヤル胎内パークホテルの公衆無線LANの整備等、情報化環境整備を支援(上限100万円)	995,976	指標①	ロイヤル胎内パークホテルの利用者(宿泊者)数	13,390	人	H28.3	12,144	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	リゾート地のインバウンド戦略には、ネット環境の整備とともに、集客のための魅力的なコンテンツ開発、観光客の快適な移動をサポートするナビゲーションサービス等の多面的整備が不可欠である。	予定通り事業終了	事業の目的を達成したため
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
6	中小企業・小規模事業者支援事業	胎内市には、有数の中小企業・小規模事業者があり、中には地域資源を活用した特有の商品・技術があるものの、販路開拓が課題となっている。そこで、市内商工業者等が行う自社商品・サービスの販路開拓や競争力強化の取組を支援する。	販路開拓のために参加する商談会等の参加費用等を助成。(1事業所あたり上限10万円、約20件)  市内建築事業者の競争力の強化を図るため、越後杉を一定量利用した住宅・リフォームに対し補助(1件につき10万円)	1,207,851	指標①	販路開拓支援により具体的な商談に入っている件数	10	件	H28.3	2	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	金融機関と連携するなどして、商談成立後のフォローを適切に行い、事業所の持続可能性を高めるとともに、活動のプロセスや成果等を可視化するプラットフォーム(Web)を構築し、雇用環境の活性化や若者の定住につなげてほしい。	追加等更に発展させる	販路開拓促進については、現時点で商談まで行かずとも、各種方面とのつながりを得ることで、顧客目線でのブラッシュアップにつながり、今後の販路の形成に大いに効果があると考えられるため。また、越後杉の利用促進については、一定以上の成果があり、今後も継続して地元木材消費の拡大を図るため。
					指標②	越後杉利用住宅件数	7	件	H28.3	8					
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										

No	① 交付対象事業の名称	② 事業概要目的	③ 交付金充当経費	④ 実績額 単位:円	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 外部有識者からの評価		⑧ 実績値を踏まえた事業の今後について		
					指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
7	企業誘致促進事業	胎内市には、県営新潟中条中核工業団地があり、これまで企業誘致に力を注いできたが、未だ分譲地が残存している。地域経済の活性化と雇用の拡大を目指して、企業誘致活動の一層の推進を図る。	イベント出展、宣伝費等企業誘致促進に係る経費	680,486	指標①	企業立地件数	2	件	H28.3	0	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	経済状況が厳しい最中での企業誘致は、企業の適切なニーズを把握し、移転に値する優遇処置の提示が不可欠である。そのためには、互いの技術や資本を生かし、開発・流通・販売・宣伝と消費者や社会を巻き込んだ、エコシステムとしての基盤整備が必要である。	事業の継続	常に外向きに情報を発信し、それまでつなりの無かった企業への対応を行うことが誘致につながるため。
8	結婚・出産・子育て応援事業(若者交流事業)	胎内市では、少子化の要因の一つである未婚化・晩婚化が大きな課題であり、特に男性の未婚率は全国平均よりも高い状況である。未婚化・晩婚化への対策として、結婚を希望している独身男女の出会いの場を創出する。	出会いパーティーの企画、運営、参加者の募集、事前セミナーの開催等婚活イベントのトータルコーディネート委託経費	756,000	指標①	当該イベントを通じた独身男女の交際開始件数	10	件	H28.3	8	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	成立カップルの追跡調査等を行うことにより、成婚につながるよう支援することを検討していきたい。	事業内容の見直し(改善)	イベントでカップルになった方の事後フォローを充実させ、成婚率をあげる。
9	結婚・出産・子育て応援事業(不妊治療支援事業)	結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援により若者の希望が叶う社会の実現を図るためには、妊娠に対する支援も重要である。不妊に悩む夫婦を対象に、治療が高額となる体外受精及び顕微授精について、県の助成に上乗せして支援する。	特定不妊治療以外の治療法によっては妊娠の見込みがないか又は極めて少ないと医師に診断されたものを対象に、特定不妊治療に要した費用について1年度当たり、1組の夫婦に対して15万円を限度に通算5年度まで助成する(県の助成を受けた場合は、費用額からその額を控除)	1,526,685	指標①	助成を受けた夫婦の組数	15	組	H28.3	14	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	金銭面の支援だけでなく、不妊に悩む方の精神面のケアも充実させ、当事者間のコミュニケーション環境の整備や情報交換の場を設けることで、不安感の払拭や前向きな治療姿勢につながる取り組みをしていきたい。	事業の継続	他市町村でも実施しており、住民からの需要もあり、一定の効果もあるため
10	結婚・出産・子育て応援事業(子育て支援事業)	胎内市では、子ども・子育てを社会全体で支えることを理念に、子育て支援施策に取り組んできた。このような仕組みづくりをより一層強化し、子どもを産み育てやすい地域を目指し、総合的な子育て支援施策を展開する。	絵本を介して、乳児のことばと心を育む機会を応援するための経費(乳幼児健診時に、指定絵本と選択絵本を配布) 幼児の定期的な歯科健診とフッ素塗布を勧め、むし歯をつくらない家庭環境づくりを応援するための経費 子育て世帯への生活支援の一助として、児童手当(特例給付を除く)の受給者に給付金を支給(対象児童1人当たり2,000円を給付)	8,147,274	指標①	4か月児及び1歳6か月児への絵本の配布率	100	%	H28.3	100	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	これらの施策が、どのように市民に受け入れられているのかなど効果検証し、より良い子育て支援策を検討していきたい。 可能であれば、給付金事業として広く配るのではなく、ニーズのある施策に集中投下するなど検討していただきたい。	事業の継続	【フックスタート】 絵本の読み聞かせの効果として、親子の触れ合う時間の確保、言語の習得等があげられることに加えて母親が安心感を抱き、母親自身が癒される効果があり、保護者に好評を得ていることから継続する。 【フッ素洗口】 効果があり定着してきているので、歯科保健水準の向上を図るためこのまま事業を継続する 【子育て生活支援給付金】 児童手当受給者に対し、子育て世帯に対する生活支援の一助として実施したが、多様化する子育て支援施策に対する要望に対する事業にシフトするため、本事業は終了する
11	結婚・出産・子育て応援事業(安心安全なまちづくりを通じた子育て応援事業)	胎内市では、小・中学校等の耐震化や防災行政無線の整備、交通安全の推進等を通じて、安全で安心なまちづくりを推進してきた。今後、子ども・子育て世帯に向けた取組の充実を図りながら、子育て世代がより安心して暮らせるまちを目指す。	子どもたちを交通事故の被害から守るためのチャイルドシートの購入費用等を補助し、若い世代の子育てを支援する。(購入は、補助率1/2・上限1万円。レンタルは、補助率10/10・上限1万円) 子供・乳幼児のための防災用品を備蓄し、子育て世代の防災に対する安心感とあわせて防災意識の啓発を図るための経費	2,299,000	指標①	チャイルドシート助成件数	150	件	H28.3	142	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	これらの施策が、どのように市民に受け入れられているのかなど効果検証し、より良い子育て支援策を検討していきたい。	事業の継続	【チャイルドシート】 乳幼児を交通事故から守るためのチャイルドシートの購入費用等補助は、保護者の負担軽減にもなり若い世代の子育て支援及びチャイルドシート着用推進にもつながる。 【備蓄】 備蓄については、予定していた事業が終了したため、予定通り事業終了とする。

No	① 交付対象事業の名称	② 事業概要目的	③ 交付金充当経費	④ 実績額 単位:円	⑤ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑥ 本事業終了後における実績値		⑦ 外部有識者からの評価		⑧ 実績値を踏まえた事業の今後について		
					指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
12	結婚・出産・子育て応援事業 (若者等交流事業)	当市では、少子化の要因の一つである未婚化・晩婚化が大きな課題である。未婚・晩婚の対策として、結婚を希望している独身男女の出会いに繋がる事業を展開する。	出会いの場の企画、運営、参加者の募集、事前セミナーの開催等婚活イベントのータルコーディネート委託経費	797,040	指標①	当該イベントを通じた独身男女の交際開始件数	5	組	H28.3	13	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	成立カップルの追跡調査等を行うことにより、成婚につながるよう支援することを検討していきたい。	事業内容の見直し(改善)	イベントでカップルになった方の事後フォローを充実させ、成婚率をあげる。
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
13	市内企業訪問ツアー事業	当市では、求人倍率が高いにもかかわらず、就職を希望する人材が集まりにくいという状況である。市内企業に関する情報発信を積極的に行うとともに、市内外の就職希望者とのマッチング等を実施し、産業の活性化を図る。	求人企業等を把握し、市内外(特に首都圏)の求職者に対するツアーに要する経費	1,534,280	指標①	当該ツアーを通じて就職した人数	6	人	H28.3	1	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	ツアー対象層を絞り、参加しやすい時期を特定し、求人者の興味を喚起させる仕組みをつくと同時に、土地勘のない地に移住する心理的不安へのケアをすることで、効果的なツアー内容にむけた改善をしていただきたい。	事業の継続	継続して情報発信することで、次世代の働き手へ市内に働く場があることを意識づけることが市内企業への就職につながるため。
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
14	空き地・空き家情報発信事業	当市では、移住定住に係る取組が遅れている。有効活用されていない空き地・優良空き家(※)情報をデータベース化するなどし、移住希望者に対して迅速な情報提供ができる環境を整える。 (※)すぐに入居可能又は軽微な修繕により入居可能な空き家であり、その所有者が他人に貸す又は売却する意思のあるもの	空き地・空き家を賃貸又は売却する意思のある方を募り、その物件情報のデータベース化及び情報発信に要する経費	2,169,230	指標①	登録申請件数	5	件	H28.3	2	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	登録件数が伸びていない原因を分析するなどして、使い易いデータベースとインターフェイスを構築することで、優良空き家の登録が増える対策にむけた検討を重ねていただきたい。	事業の継続	当該事業で整備したシステム等を活用し、空き家バンク事業を展開していく。
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										
15	防犯灯整備事業	住みよいまちづくりを進めるために、電灯等の整備を図り夜間の通行等における安全性を高める。	地域の夜間の安心安全を確保するために実施する、電灯等の更新等整備に要する経費	5,499,450	指標①	安心安全を感じる区長の割合	100	%	H28.3	100	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	更に住民のニーズを汲んだ防犯対策に取り組んでいただきたい。	事業の継続	防犯灯の整備を継続することで、夜間の通行等における地域の安全安心の確保が図られるため。
					指標②										
					指標③										
					指標④										
					指標⑤										